

2014年度 事業報告書

(2014年4月1日～2015年3月31日)

I、資源のリユース・リサイクルを推進する事業

地域における環境保全の推進を図ることを目的として、大ぜいの“もったいない”の思いを集めWEショップを拠点にリユース・リサイクル事業を展開し、資源の有効活用を図り地域環境の保全を目指します。

『基本方針』

- (1)WEショップ星川店、天王町店を拠点としてリユース・リサイクル事業をすすめ、資源の有効活用を図ります。
- (2)地球環境の保全をめざして、行政・企業・商店会や地域の運動グループ・団体と連携し活動をすすめます。また、地域内循環によるCO₂削減を目指します。

『事業内容』

- 1)ショップ運営は、星川店・天王町店ともスタッフ3人体制を維持し、円滑な運営をすすめました。また、年間活動計画表のもと、マンネリ化しない運営を意識し、年間を通した事業への実践力が高まりました。
 - ①スタッフとの相互共有と業務の円滑化をすすめるため、ショップオープン前のボランティアミーティング開催を図りましたが、時間的に話し合いが難しく課題が残りました。
 - ②WEらしさを発信するフェアの開催が定着し、それぞれのショップの特徴を生かしたアピールができました。今後はチラシ、ポスター、ポップなどを活用し、店内の雰囲気がお客様に伝わる広報の仕方を工夫していきます。
 - ③心地よいショップ運営に向けて、お客様の目線にあったショップレイアウトと、狭さの中にもボランティアに配慮したバックヤードのレイアウトを工夫しました。
 - ④安全なショップ運営のために、ショップでの危機管理体制の見直しと確認を行いました。
 - ⑤消費税の対応としては“外税扱い”を継続し、今後の国の動向をみながらすすめます。
- 2)拠点を活かした発信、人と人との交流の場として大勢が参加しやすい企画をするなど現ショップで努力をしてきました。しかしながら、リメイク講座はマンツーマンの丁寧な指導が好評のため参加者が多く、ショップでの開催ができない状況にあり、今後の検討が必要です。
- 3)リユース・リサイクル部会においてチーム活動の共有を図り、寄付品の有効活用と実践をしてきました。チーム主催による体験講座は充実し、メンバーによるリメイク作品は、事業への多大な担い手となりました。また、リユース・リサイクル部会メンバーが、市民活動センターアワーズで開催された「ほどがや街の学習応援隊フェスタ」の体験コーナーに講師として参加しました。一方、メンバーの高齢化などの課題もあり、メンバーを広げるための広報の工夫が必要です。
- 4)ショップでの講座開催は広報力として成果を生み、新たな拠点への事業性をみることができました。
- 5)「貴重な寄付品を生かしたい」「ファイバーの削減をしたい」との思いでスタートしたリメイク企画チーム

をどう生かすか・・・を検討し、今年度は講座開催での作品を1冊にまとめ掲示することで新たな生活文化の発信としました。今後はウールの活用などを視野に入れた企画を考えていきます。

6) WE21の事業に参加し、情報の収集と交流を図りました。

油田(使用済み天ぷら油)回収量 星川店 127 kg (CO2削減量 330 kg)

天王町店 235 kg (CO2削減量 611 kg)

携帯電話回収量 星川店 24 個 天王町店 13 個

7) WE21リメイク連絡会に参加し、他地域NPOとの情報を共有し、WEフェスタ春(3/4、5)に参加しました。 出品数 70点 売上金額 39,300 円 販売数 46 点

WEフェスタ秋(10/25・26)にはリメイク品 150 点を寄付しました。

8) 中区寿町で活動する「寿支援者交流会」へ、衣類、日用雑貨等を寄付しました。

【日時】(ショップ運営)

星川店 4月1日～3月31日 月曜日～金曜日(土、日、祝日休み)

天王町店 4月1日～3月31日 月曜日～土曜日(水、日、祝日休み)

(他 活動) 通年

【場所】 WEショップ星川店・天王町店、その他神奈川県内・保土ヶ谷区内

【従事者人数】 スタッフ星川店3名、天王町店3名、リユース・リサイクル部会 6名、
リメイク企画チーム5名、他ボランティア

【受益対象者】 主に保土ヶ谷区内の市民

【支出額】 12,834,429 円

II、アジア等における市民、とりわけ女性の生活向上と自立のための活動を支援する事業

アジア等に暮らす市民、そして支援先の人々と連携し、NPOやNGO等により入手した情報を発信し、平和への関心を高め広めていきます。

『基本方針』

- (1) 支援先の人々と交流・報告会を通して課題を共有し、支援事業の共育の充実を図ります。
- (2) アジア等の人々の生活向上と自立のための活動を支援します。

『事業内容』

- 1) NGOによる現地プロジェクトへの支援を継続とし、情報入手の上報告会を開催、今年度の支援としました。
 - ① イヤマンのジェドさんの来日に合わせた報告・交流会を開催、大勢の参加で活動を共有できました。
 - ② 今年度は、WE21、地域NPO等による情報から報告会や学習会に参加する機会が多く、多岐にわたる支援情報を得ることができました。今後に向けては、地域からの参加を増やし、支援への関心を広めていきます。
 - ③ “世界貧困撲滅キャンペーン”に参加し、認定NPO法人「ACE」で実践している児童労働のない社

会を築くための「ピース・インド」プロジェクトに支援しました。

また、「児童労働を10万人に伝える『そのこ』未来キャンペーン」に参加しました。

④ほどがや独自による現地視察ツアーの実施には至りませんでした。

2) フェアトレードに関する情報を収集し、共育を通して理解者を広めました。

ショップにおいてフェアトレードフェアと、同時開催によるアジアンフェアを2回開催し、公正な価格による販売をしました。

3)「3.11を忘れない」東日本大震災の復興支援は毎月11日の売上げの30%と3月11日の売上の全額を「福島ぼかぼかプロジェクト」に寄付しました。またWE21旭と「福島いわきツアー」を共同企画し、実施しました(ほどがや15名参加 全体48名参加)。東北支援グッズ販売を年2回開催しました。

4) イヤマンのレインボーキャンペーンに参加し、97名にクレヨンをプレゼントしました。

5)「アジア・友だち・みらい貯金」を会員・地域市民に呼びかけ、寄付文化を高める取り組みをしました。貯金箱9個を寄付しました。

支援先	プロジェクト名	助成金	寄附金	募金
IYAMAN.INC	環境教育プロジェクト	150,000		
	レインボーキャンペーン			4,605
WE21ジャパン	-先住民族の命と暮らしと文化を守る - ルポ村鉱山開発跡地の環境回復のための植林と環境活動	150,000		
DRSC	農村地域女性のエンパワメントを目的とする DRSC の既存プロジェクトの追加活動	120,000		
認定NPO法人 シェア	タイ-ラオス国境地域におけるHIV予防啓発及びケアプロジェクト	100,000		
BENETEN	ベンゲット州キブンガン郡の先住民族のための農業-環境生計向上事業	50,000		
認定NPO法人 ACE	「ピース・インド」プロジェクト		108,224	11,484
	「そのこ」未来キャンペーン			16,000
認定NPO法人 FoE JAPAN	福島ぼかぼかプロジェクト		195,806	87,412
認定NPO法人 CYR	みんなで布チョッキン			22,000
	総合計	570,000	304,030	141,501

【日時】 通年

【場所】 保土ヶ谷区

【従事者人数】 支援チーム5名、天王町店スタッフ3名、星川店スタッフ3名

【受益対象者】 一般市民 支援先の住民

【支出額】 1,118,190 円

Ⅲ、地域市民の国際的な問題意識の向上を図る事業(共育事業)

WEほどがやの活動を広げ、理解を深めるため地域市民に呼びかけ学びます。また、WE21や各NGOと連携し活動や世界情報を共有します。

『基本方針』

(1) WEほどがやの活動の一環である支援事業について学びます。

『事業内容』

1) WE講座を開催し、大勢の参加により情報の共有をしました。

開催日	内容	開催場所	参加人数
7月20日	リメイク講座夏休み企画 ミサンガ・シュシュ・ラグ作り	市民活動センター アワーズ	23名
9月6日	携帯電話と鉱山のつながり WE21ジャパン 千葉美佐子氏	アワーズ	7名
1月10日	福島ほかほかプロジェクト報告会 国際NGO「FoE Japan」篠原ゆり子氏	アワーズ	8名
12月6日	憲法学習会 講師:贅川恭子氏	アワーズ	11名
1月30日	憲法カフェ 弁護士:伊藤朝日太郎氏	はなかご	16名
2月25日	みんなで布チョッキン (活動紹介のDVDを見た後、カンボジアの子どもたちの 遊具づくりのお手伝い) 認定NPO法人 幼い難民を考える会	保土ヶ谷公会堂 会議室	20名
3月20日	「ピース・インド」プロジェクト報告会 認定NPO法人「ACE」成田由香子氏	アワーズ	7名

【日時】 4月1日～3月31日

【場所】 保土ヶ谷区

【従事者人数】 理事8名

【受益対象者】 一般市民、会員、ボランティア

【支出額】 81,150 円

IV、WEほどがや事業の広報普及を図る事業(広報事業)

WEほどがやの活動の理解を深めるため、地域市民へ情報の受発信に努めます。

『基本方針』

- (1) WEほどがやの活動を伝え、広めるための広報をしていきます。
- (2) 広報の充実を図り、多世代にわたる市民への受発信に努めます。

『事業内容』

- 1) 広報の充実を図りました。
 - ① 地域市民に広くWEの活動を知らせる「ほどがやニュース」を年3回発行しました。
特に50号は復興支援をテーマにした特集号とし、はじめてのカラー印刷発行をしました。
第1回(7月)1000部 第2回(12月)500部 第3回(2月)1000部
 - ② 読売新聞が配布する地域情報紙「この街クラブ」に毎月ショップの情報を掲載し、活動をアピールしました。新聞折り込みチラシ1700枚を配布しました。
 - ③ 寄付品増に向けたチラシを作成し配布しました。エリアを広げて配布することが課題です。
チラシ配布数 星川店 11,700枚 天王町店 7,500枚
 - ④ 横浜南部エリアの11地域NPOが参加して、共通のチラシを作成しました。
(南部エリア6万枚 ほどがや8500枚)
 - ⑤ 三つ折カラーパンフレットを1000枚作成しました。
 - ⑥ 新規提供者、会員、ボランティアへ年間のお礼・活動報告を兼ねて年賀状を送付しました(310枚)。
- 2) WEほどがやのホームページを立ち上げました。あわせてブログによる速やかな情報の受発信に努めました。また、ほどがや市民活動センターのホームページの活用をしました。

【日時】 4月1日～3月31日

【場所】 保土ヶ谷区

【従事者人数】 広報チーム4名、理事8名、ショップスタッフ6名

【受益対象者】 一般市民

【支出額】 108,733円

V、事業を实践するための組織活動

組織力を高め、大ぜいの参加のもと、WE21を理解し、ほどがやらしさ、元気力をモットーに活動をすすめます。

『基本方針』

- (1) 組織の充実を図り経営基盤を高めます。
- (2) 雇用者との情報を密にし、よりよい働き方をめざします。
- (3) 行政、企業、他団体・その他地域グループの企画に参加し、ネットワークを広げ相互に活動を共有します。

「事業内容」

1) 組織の要となる理事会を開催し経営基盤を高めました。

①理事会を定例開催しました。

②代表者ミーティングを定例開催して理事会案件を確認し、より円滑な会議運営に努めました。

③「理事会通信」を毎月発行、ショップに掲示し、スタッフ・ボランティアとの情報の共有をしました。

2) 会員拡大

① 正会員拡大目標:個人(年間 2000 円):69 名 団体(年間 10000 円):2団体

実績:個人 期首 63 名 期末 58 名 脱退 4 名 (新規 2 名 賛助へ移行 3 名)

団体 1 団体

賛助会員拡大目標: 個人(1口 500 円 一口以上) 12 名

団体(年間 3000 円) 6 団体

実績: 6名(10 口) 団体 0

3) 15周年を活動の節目として記念イベントを開催し、会員・ボランティア、地域の活動団体と共有し、新たな実践へのスタートを誓いました。当日は 2013 年に実施した「沖縄平和スタディツアー」の報告会を行い、記念誌「15 年のあゆみ」を配布しました。

4) 会員、ボランティアとの交流を深める場として、7 月と 12 月の懇親会や、11 月の「福島いわきツアー」などの企画をしました。

5) 他地域 NPO と連携し、NPO 法改正みなし寄付制度導入見直しに関する要望のロビー活動を行いました。

6) 運営の充実とショップ事業を円滑にすすめるため、事務局1名、スタッフ6名の雇用促進に努めました。

①個別スタッフ面談を実施しました。次年度への雇用形態へのアドバイスとなりました。

②ショップ運営を円滑にすすめるために、スタッフミーティングを毎月開催、報告書を作成し理事会に提出しました。ショップスタッフチーフによるニュースの掲示を行いました。

③拡大スタッフミーティングを開催しました。

6) ショップ運営の担い手であるボランティアとの共有の場を設定し実施します。

①拡大目標 :40名 ボランティア人数41名 ボランティア延べ人数52名

②ボランティアニュースを毎月発行し、メンバー相互の共有を図りました。

③日頃のボランティア活動に感謝してサンキューチケットを 1 月に配布しました。

7) 地域における団体・グループ、企業や行政、商店会が行う企画に参加し、地域市民と共にまちづくりをすすめました。

①WEほどがやを拠点として、相互に影響しあえる社会・仲間づくりをしていくために、就労支援の受け入れを行いました。

②WEショップを職業体験の場として、岩崎中学校より 4 名受け入れました。

③天王町商店会のイベント(フリーマーケット、子どもフェスタ、神社バル)に参加し、交流を深め、活動のアピールの場としました。

④生活クラブ運動グループ「保土ヶ谷・西まちづくり協議会」に参加し、相互の活動の共有を図りました。

- ⑤福祉クラブ生協主催の「ふくしまつり」に参加し、福祉車両購入基金へ 2000 円を寄付しました。
- ⑥ほどがや生涯学習フォーラム実行委員会主催の「まなぶん祭り」の体験プログラムに参加し、活動をアピールしました。
- ⑦ほどがや市民活動センター アワーズ の協働運営会議のメンバーとなり企画に参加しました。
- ⑧保土ヶ谷区魅力ある地域まちづくり事業「ほどがや 人・まち・文化振興会」に参加しました。
- ⑨横浜市内在住65歳以上の方対象の割引制度「濱とも協賛店」参加を継続しました。
- ⑩横浜市の子育て家庭応援事業「ハマハグ」の協賛店になりました。

【日時】 4月1日～3月31日

【場所】保土ヶ谷区内

【従事者人数】 理事8名、星川店・天王町店スタッフ6名、

【受益対象者】 一般市民 会員 ボランティア

【支出額】 1,174,781 円

以上